

(基本情報)

会議名称	第 3 回 立川市第 5 次地域福祉計画策定検討委員会 第 6 次地域福祉市民活動計画策定委員会
開催日時	令和 6 年 3 月 11 日 (月曜日) 午後 7 時 00 分～9 時 00 分
開催場所	立川市総合福祉センター (2 階 視聴覚室)
次第	1. 委員長挨拶 2. 政策動向の確認について 3. 第 1 回作業部会 報告及び検討 4. 第 2 回作業部会について 5. 対象別ヒアリングについて 6. その他
配布資料	1. 孤独・孤立の実態調査に関する全国調査(令和 4 年) 調査結果のポイント 2. 2023 年政策・提言 3. 令和 5 年度地区カルテ 4. 現計画の中間評価 (3 つの重点推進事項) について 5. 第 1 回作業部会 報告 6. 令和 5 年度 地域福祉ウォッチャー調査 調査結果 7. 「地域福祉に関するアンケート 2023」集計表 8. 対象別ヒアリング実施について
出席者	[委員] 熊田博喜 (委員長)、中村喜美子 (副委員長)、藤原紀子、大江尚之、齋竹一子、井村良英、岡本彰子、景山千鶴子、中村ひとみ、富山孝雄、宮本直樹、菅根浩子、太田なつみ [事務局] ＜立川市＞ 小平真弓 (地域福祉課長)、高橋知宏 (地域福祉推進係長)、伊藤和香子 (地域包括ケア推進係長)、竹森雅人 (地域福祉推進係) ＜立川市社会福祉協議会＞ 枝村珠衣 (地域活動推進課長)、小山泰明 (地域づくり係長)、内金崎快、高橋美季、吉田理恵 (地域づくり係)
公開及び非公開	公開
傍聴者数	0 人
会議結果	以下の通り
その他	以下の通り
担当	立川市社会福祉協議会 地域活動推進課

	電話 042-540-0200（代表）
--	---------------------

主な意見

【1. 委員長あいさつ】

委員長よりあいさつがあった。

【2. 政策動向の確認について】

<事務局（社協）>

・委員より、様々な調査など国の動向などを確認しながら計画策定の参考にしていくことが必要だという声があったため、資料 1 を共有した。今後も参考となる調査などを必要に応じて共有する。

<事務局（市）>

- ・資料 2 に基づき 2023 年政策・提言について説明した。
- ・資料 3 に基づき令和 5 年度地区カルテについて説明した。

<事務局（社協）>

・資料 4 に基づき現計画の中間評価の 1.まると相談支援、2.地域福祉アンテナショップの設置、3. 地域福祉コーディネーターの活動強化の 3 つの重点推進事項について説明した。

<委員長>

- ・2023 年政策・提言について、特に市長が推していることは何か。

<事務局（市）>

→小学校給食の無償化だと思われる。

<委員長>

→特に子ども対策と生活の暮らし向きを特により良くしていくというところが、市長の重点施策だという理解でよいか。

<事務局（市）>

→その通りである。

<委員>

・令和 5 年度地区カルテについて、2023 年の 1 月や 5 月のデータだと思うが、地域福祉計画で考えていかなければいけないのは、10 年後 20 年後の人口構成を見据えたうえで何をすべきかということを考えていかなければならないと思う。そのため、未来予測のようなものも、今すぐには難しいとは思いますが、出してほしい。

<事務局（市）>

・長期総合計画の策定の準備を進めているため、確認し、可能であれば次回の委員会で提示する。

【3. 第1回作業部会 報告及び検討】

<事務局（社協）>

・資料5に基づき第1回作業部会について報告した。
・検討については、1. 場づくりと交流、2. ネットワークと連携、3. 多様性、4. 情報、5. 人材、6. 財源の6つの視点に基づいて、3グループに分かれて実施し、以下のような意見が出た。

1. 場づくりと交流…だれでも「食」は必要なので、食をテーマに楽しく、嬉しく、美味しい居場所づくりが進むと良い
2. ネットワークと連携…だれでも参加でき、地域のことにに関して意見できる機会（地域定例会）があると良い
3. 多様性…知ることによって優しくなる
4. 情報…アピール上手 情報のセレクト上手になる
5. 人材…リンクワーカーのような人が必要ではないか
6. 財源…企業と連携し、資金のサポートを得られるように検討する

【4. 第2回作業部会について】

<事務局（社協）>

・第2回作業部会については、令和5年度 地域福祉ウォッチャー調査結果、「地域福祉に関するアンケート2023」集計表、ヒアリング調査について検討する。

<事務局（市）>

・資料6、7に基づき令和5年度地域福祉ウォッチャー調査、地域福祉に関するアンケート2023について説明した。

【5. 対象別ヒアリングについて】

<事務局（社協）>

・資料8に基づき対象別ヒアリング実施について説明した。地域福祉計画、地域福祉市民活動計画の策定に関して、懇談会やアンケートの内容では把握できない分野について、幅広く現状、課題、強みを把握し、反映させるために、対象別ヒアリングを実施する。対象とすべき分野について意見を募ったところ下記のような意見があった。

<委員>

・外国籍の子どもたちの学校支援に入っている団体の方から話を伺ったことがあるが、子どもたちのこと以外にも家庭のことや、学校教育を十分に受けられず高校受験の際などに困りごとが生じるのかなどをよく理解して課題として挙げられていた。団体名が今は思いつかないが、事務局は知っているのではないかと思う。

<委員>

・ヒアリングの対象に「子ども」と記載されているが、親が含まれていないのならば、ひと

り親支援団体、多胎児支援団体、手をつなぐ親の会などにも話を伺ってもらえると嬉しい。

<委員長>

・ヒアリング対象について、体系的に整理することが必要ではないか。基本はなかなか声を上げにくい人たちを対象にすることだと思う。今回の計画策定のテーマは、支援に乗らない人達をどう考えるかということだと思うので、そこを念頭に置きながら対象者を決定していければと思う。

<委員>

・対象はひとりぼっちだと感じている人だという意味だと思うが、学校に行きたくないが行かざるを得ない小学生は、相当辛い思いをしていることが現場で分かった。もちろん先生は学校が楽しくなるような努力をされているが、どう考えてもマンパワーに限界があるため、やはり地域で何とかしていくというのが大事な視点だと思う。そのため、不登校というよりは、学校に行きたくないが行かざるを得ない小学校 4 年生ぐらいの話を是非聞いてもらいたい。

<委員>

・小学校 3 年生や 4 年生で外国から転校してきた児童が、日本語が分からないのにクラスに放り込まれ、非常につらい思いをしたということを、高校生くらいになった当事者から立て続けに聞くということが最近あった。自分が同じ立場だったら想像を絶すると思った。「しょうがないね。」で済ますべきではないことについても考えていきたい。ぜひ話を聞く対象に入れていただけると嬉しい。小学生は辛い思いを小さい胸の中にしまっているの、それを聞く努力を大人たちは今する必要があると思う。

<委員長>

・この場でなくてもヒアリング対象について、事務局に寄せてもらいたい、期限はいつまでとするか。

<事務局（社協）>

・3 月 15 日(金)までとする。

【6. その他、次回日程等】

次回についての日程調整を行った。